令和2年度第1回 京都市国民健康保険事業の運営に関する協議会の開催結果について

- 2 審議事項 ・ 令和元年度京都市国民健康保険事業決算見込について
 - ・令和2年度京都市国民健康保険事業運営計画(案)について
- 3 審議方法 書面審議
- 4 回答状況 承認する 20名

(委員20名中) 承認しない 0名

5 審議結果 各委員からの御意見等及び本市の見解を踏まえ、令和2年度京都市国

民健康保険事業運営計画について一部修正したうえで、承認

御意見等の内容	本市の見解		
被保険者代表			
○ 低所得者の加入割合が高いうえ, コロナウイル	○ 今後も、国民健康保険事業の安定した運営のため、保		
スの影響で収支のバランスが厳しいと思われ	険料徴収率の向上に努めます。		
るが、引き続き徴収率の向上に努めることが望			
まれる。			
(上田委員)			
○ 今年度の事業が新型コロナウイルスの影響を	○ 国の財政支援により傷病手当金の支給や保険料の特例		
様々な面で受けると考えられ心配している。経	減免など被保険者の支援とともに、申請の郵送受付・		
費面で、これまでとは異なる出費があれば、国	オンラインでの保健事業実施などの感染拡大防止に努		
からの支援をできる限り要望していただきた	めております。今後も継続した対策が実施できるよう,		
V.	財政支援について国へ強く要望してまいります。		
○ また、健康診査においては、集団健診が今後も	○ コロナ禍においても、被保険者の健診の機会を確保し、		
できなくなることが考えられ、受診率を減らさ	効果的な保健事業に結びつけるため、個別健診の受診		
ない工夫が必要だと思う。(特に, 比較的健康	勧奨を強化する等の対策を行っております。感染拡大		
で, 主治医がおられない方々の受診について)	防止を念頭に置きながら、今後も効果的な事業のあり		
(北村委員)	方を模索してまいります。		
○ 保険料徴収率が上がったことは、国民健康保険	○ 国民皆保険を支える最後のセーフティネットとして,		
制度への期待と思える。一般会計からの繰入れ	今後も、保険料の徴収率向上の取組など、国民健康保		
に支えられている現状はあるが,高齢者や低所	険制度の安定運営に向けて取り組んでまいります。		
得者の健康を守る制度であり続けてほしい。			
○ コロナ禍にあって、離職者や収入減の世帯の増	○ ご指摘のとおり、コロナ禍において経済活動が急速に		
加が懸念される中, 国からの支援拡大を強く望	落ち込む中で、所得が減少する世帯の増加が予想され		
むところである。	ることから、被保険者の負担軽減のため、国に対して		
	更なる財政支援を要望しているところです。		
	引き続き, 傷病手当金の支給や保険料の特例減免など		
	新型コロナウイルス対策を実施するとともに、国から		
	の財政支援を強く要望してまいります。		

御意見等の内容	本市の見解
○ 適正な受診は、国保制度を利用するものにとっ	○ 本市国保の重複多受診者及び重複服薬者訪問指導事業
て守らなければいけないものと認識している。	では、「同一月に3カ所以上の医療機関より同一の薬効
重複受診、重複服薬の原因は何か。もし認知症	薬剤の処方を受けている者」という基準に加え、改善
によるもの、不安からくるものであったりする	効果が見込まれることを条件に抽出していることか
のであれば、地域の見守り活動との連携も必要	ら、絞り込みの際に認知症の方は対象から外しており
ではないか。	ますが、保健師による訪問指導の中で、そういった症
(西村委員)	状が見られる場合には、地域包括支援センター等の関
	係機関との連携も行っております。また、対象者の特
	徴としては、40~60歳代の方で、睡眠導入剤の重複処
	方を受けておられる方が多い傾向が見られます。
○ 早期に医療保険制度の一本化が実現するよう	○ 国保は、高齢者や低所得者の加入割合が高いといった
願っている。	構造的な課題を抱えており、他の医療保険制度と負担
	の公平化を図るため、すべての国民が加入する医療保
	険制度の一本化など抜本的な改革が行われるよう、引
	き続き、国に対して強く要望してまいります。
○ 多額の(一般会計からの)繰入れにより、保険	○ 国民皆保険を支える最後のセーフティネットとして,
料を抑えていただいていることに、感謝と安心	安心して医療を受診いただけるよう,今後も,国民健
をしている。	康保険制度の安定運営と保険料負担の増加の抑制に努
	めてまいります。
○ コロナ禍の状況の中,国保制度の状況が心配で	○ コロナ禍において経済活動が急速に落ち込む中で、所
ある。	得が減少する世帯の増加が予想されることから、被保
(前坂委員)	険者の負担軽減のため、国に対して更なる財政支援を
	要望しているところです。
	引き続き、傷病手当金の支給や保険料の特例減免など
	新型コロナウイルス対策を実施するとともに、国から
	の財政支援を強く要望してまいります。
保険医代表	
○ 新型コロナウイルス感染症への対策をお願い	○ 本市においては、市長を本部長とする京都市新型コロ
する。	ナウイルス感染症対策本部を設置し、全庁をあげて感
(神田委員)	染拡大防止に取り組んでおります。
	今後心配される高齢者などリスクが高い方への感染拡
	大や、冬期におけるインフルエンザとの同時流行など
	による重症者の増加、医療の逼迫等の事態を防ぐため、
	9月を「京都市コロナ感染防止徹底月間」に位置付け、
	集中的に感染防止対策を実施しているところであり,
	引き続き,感染拡大防止に努めてまいります。

御意見等の内容	本市の見解
御意見等の内容	本市の見

- 資料3のP50「2 医療費適正化の取組」上段の 記載について,「後発医薬品とは,効き目や安全 性が実証されている薬と有効成分が同一であ ることなどが審査されたうえで…」の部分を, 「後発医薬品とは,効き目や安全性が実証され ている薬(先発医薬品)と有効成分が同一であ ることなどが審査されたうえで…」とした方が わかりやすい。
- いただいたご意見をもとに,運営計画(案)を修正します。

(中林委員)

公益代表

- 「健康長寿のまち・京都推進プロジェクト」に おいて、京都市民の健康寿命を延伸し、とある が、現在の京都市民の健康寿命と京都府内及び 全国の健康寿命を教えてほしい。
- 医療費は前期高齢者のみに限って比較すると 全国平均を 12.4%上回っているが、その原因と して考え得ることは何か。

(小山委員)

○ 厚生労働科学研究「健康寿命のページ」(HP) によると、平成28年度の本市、京都府及び全国における健康寿命は次のとおりです。

<本市> 男性:71.55 歳,女性:72.82 歳 <京都府>男性:71.85 歳,女性:73.97 歳 <全国> 男性:72.14 歳,女性:74.79 歳

○ 本市国保において、1人当たり医療費が高くなる要因 としては、次の点が考えられます。

まず、疾患別に医療費を分析した場合、循環器系疾患や悪性新生物にかかった医療費が全国平均と比べ高くなっていること(資料 3 P29)。次に、比較的医療機関が充実しており、被保険者が医療を受けやすい環境が整っていることです。

循環器系疾患へつながる生活習慣病については,早期 に介入することで重症化を予防することが可能であ ることから,特定健康診査・特定保健指導の受診率向 上に努めるとともに,重症化予防対策など医療費適正 化の取組を進めてまいります。

被用者保険代表

- 1 人当たり医療費と保険料の 10 年推移では、保険料の横ばいに対し医療費が増大しており、今後、高齢化や医療の高度化により収支乖離が一段と増す傾向が伺える。こうした中、医療費適正化の一環として事業分析が進められており、高齢者へ移行する疾病分類の動向や受診状
- ご指摘のとおり、高齢化の進展や医療の高度化により 1 人当たり医療費が増加傾向にあります。被保険者の 健康・医療情報データの分析を進め、効率的な保健事 業の実施を目指す等、国民健康保険事業の財政安定化 を図る重要な取組として、関係機関とも連携を図りな がら医療費適正化を進めてまいります。

_	御意見等の内容	本市の見解
	況等から,様々な課題に適した被用者保険との	
	事業連携がますます重要になっている。	
	○ 一方、コロナ禍における集団健診の中止はやむ	○ コロナ禍においても、被保険者の健診の機会を確保し、
	を得ないが,全日程の中止によって未受診が重	効果的な保健事業に結びつけるため、個別健診の受診
	症化に移行することがないよう受診勧奨の強	勧奨を強化する等の対策を行っております。感染拡大
	化,また環境の整備等,積極的な保健事業によ	防止を念頭に置きながら,被保険者の健康を保持する
	り加入者の健康度を高めていただきたい。	ため、今後も効果的な事業のあり方を模索してまいり
	(大八木委員)	ます。